

5 市郡別の状況

(1)事業所数 [表11]

【卸売業】

事業所数は、市部で3,041事業所、郡部で389事業所となり、前回に比べて市部で182事業所減少し、郡部で1事業所増加した。

事業所数が前回比で増加したのは市部で竹田市1市、郡部で大分郡等5郡となった。

[主な増加市・郡部]		
竹田市	3事業所増	(前回比 5.9%増)
大分郡	20事業所増	(同 76.9%増)
下毛郡	5事業所増	(同 35.7%増)
[主な減少市・郡部]		
大分市	47事業所減	(前回比△ 2.7%減)
別府市	47事業所減	(同 △11.6%減)
玖珠郡	10事業所減	(同 △18.5%減)

【小売業】

事業所数は、市部で11,248事業所、郡部で4,186事業所となり前回に比べて、市部で808事業所、郡部で307事業所減少した。

全ての市部において事業所数が前回に比べて減少し、増加したのは日田郡のみであった。

[増加郡部]		
日田郡	27事業所増	(前回比 14.7%増)
[主な減少市・郡部]		
別府市	199事業所減	(前回比△10.4%減)
佐伯市	104事業所減	(同 △11.9%減)
中津市	103事業所減	(同 △8.9%減)

(2) 就業者数 [表12]

【卸売業】

就業者数は、市部で25,659人、郡部で2,495人となり、前回に比べて市部で3,791人減少し、郡部で85人増加した。

就業者数が前回に比べて増加したのは市部では津久見市1市のみ、郡部では大分郡をはじめとする6郡部、減少したのは大分市等10市、宇佐郡等6郡部となった。

[主な増加市・郡部]		
津久見市	1人増	(前回比 0.4%増)
大分郡	201人増	(同 166.1%増)
玖珠郡	21人増	(同 6.8%増)
[主な減少市・郡部]		
大分市	2,684人減	(前回比△14.1%減)
日田市	299人減	(同 △16.8%減)
宇佐郡	36人減	(同 △73.5%減)

【小売業】

就業者数は、市部で69,682人、郡部で17,764人となり、前回に比べて市部で450人減少し、郡部で863人増加した。

就業者数が前回に比べて増加したのは大分市等4市、東国東郡等8郡部、減少したのは別府市等7市、玖珠郡等4郡部となった。

[主な増加市・郡部]		
大分市	1,687人増	(前回比 5.3%増)
大分郡	266人増	(同 10.4%増)
東国東郡	229人増	(同 11.0%増)
[主な減少市・郡部]		
別府市	659人減	(前回比△ 6.5%減)
佐伯市	619人減	(同 △13.0%減)
玖珠郡	127人減	(同 △ 6.0%減)

(3)年間商品販売額 [表13]

【卸売業】

年間商品販売額は、市部で1兆3,896億円、郡部で756億円となり、前回に比べて市部で3,091億円の減、郡部で62億円の増となった。

年間商品販売額が前回に比べて増加したのは宇佐市1市、大分郡等5郡、減少したのは大分市等10市、東国東郡等7郡となった。

[主な増加市・郡部]		
宇佐市	156億円増	(前回比 81.2%増)
大分郡	125億円増	(同 281.8%増)
大野郡	8億円増	(同 7.6%増)
[主な減少市・郡部]		
大分市	2,592億円減	(前回比△19.8%減)
日田市	189億円減	(同 △31.1%減)
東国東郡	36億円減	(同 △29.6%減)

【小売業】

年間商品販売額は、市部で1兆211億円、郡部で2,094億円となり、前回に比べて市部で586億円の減、郡部で16億円の増となった。

年間商品販売額が前回に比べて増加したのは臼杵市等2市、大分郡等4郡、減少したのは大分市等9市、玖珠郡等8郡となった。

[主な増加市・郡部]		
臼杵市	6億円増	(前回比 1.7%増)
大分郡	89億円増	(同 35.3%増)
北海部郡	4億円増	(同 8.3%増)
[主な減少市・郡部]		
大分市	199億円減	(前回比 △3.7%減)
別府市	109億円減	(同 △7.8%減)
玖珠郡	28億円減	(同 △10.3%減)

(4)人口1,000人当たり事業所数・就業者数 [表14]

【人口1,000人当たり事業所数】

県平均15.4事業所、市部では15.7事業所、郡部では14.7事業所となり、市郡とも前回を下回った。

市郡別にみると、市部では竹田市の21.7事業所が最も多く、大分市の13.6事業所が最も少ない。郡部では東国東郡と玖珠郡の16.7事業所が最も多く、速見郡の12.4事業所が最も少ない。

増減率をみると、市部では竹田市のみわずかに増加し、郡部では日田郡と大分郡が増加している。

【人口1,000人当たり就業者数】

県平均94.7人、市部では104.8人で前回を下回り、郡部は65.1人で前回を上回った。

市郡別にみると、市部では大分市の114.3人が最も多く、津久見市の65.0人が最も少ない。また、郡部では大分郡の78.1人が最も多く、西国東郡の46.7人が最も少ない。

増減率をみると、2市10郡で増加し、日田郡が36.6%と最も高く、次に大分郡の16.7%が続いている。